

1－（6）日本文化の象徴である歴史都市・京都を「電線のない 美しいまち」とするための無電柱化の早期推進

（国土交通省）

京都市では、日本文化の象徴である歴史都市・京都の美しさを取り戻すため、無電柱化推進計画に基づき、幹線街路に加えて、歴史的景観に配慮すべき重要伝統的建造物群保存地区や世界文化遺産周辺地域などの非幹線道路においても鋭意無電柱化事業を進めております。また、道路整備に当たりましては、新たな道路の中期計画に基づき、無電柱化事業の推進をはじめとする景観に配慮した魅力ある道路整備を推進していくことが重要であります。

今後、無電柱化事業を推進するためには、通常の国庫補助の拡充に加え、国の新たな制度である「歴史的環境形成総合支援事業」等を活用するほか、国直轄事業における電線共同溝整備による無電柱化の促進及び地方負担率の引下げが必要であると考えております。さらに景観に配慮すべき地域で無電柱化事業を推進するためには、無電柱化に伴う舗装復旧について、グレードアップ舗装の補助対象化及びトランス等地上機器のコンパクト化が必要不可欠であります。

また、無電柱化事業は多額の建設費用を要することから、電線管理者との整備に関する合意が得られにくく、景観にとりわけ配慮すべき地域では、電線管理者に対して、無電柱化を義務付ける新たな法制度の創設と財政支援が必要であると考えております。

よって、次のとおり要望します。

提案事項

- 1 新たな道路の中期計画に基づく、無電柱化の推進をはじめとする景観に配慮した魅力ある道路整備の推進
- 2 景観にとりわけ配慮すべき地区において、グレードアップ舗装を行う場合の財政措置
- 3 景観にとりわけ配慮すべき地区における電線管理者に対する無電柱化を義務化する法制度の創設と財政支援

要望事項

- 1 歴史的景観に配慮すべき地区などにおける無電柱化事業に係る国庫補助金の拡充及び新たな制度の活用・採択
- 2 国直轄事業における電線共同溝整備による無電柱化の促進及び地方負担率の引下げ
- 3 関西電力・NTT等への技術面を含めた協力要請

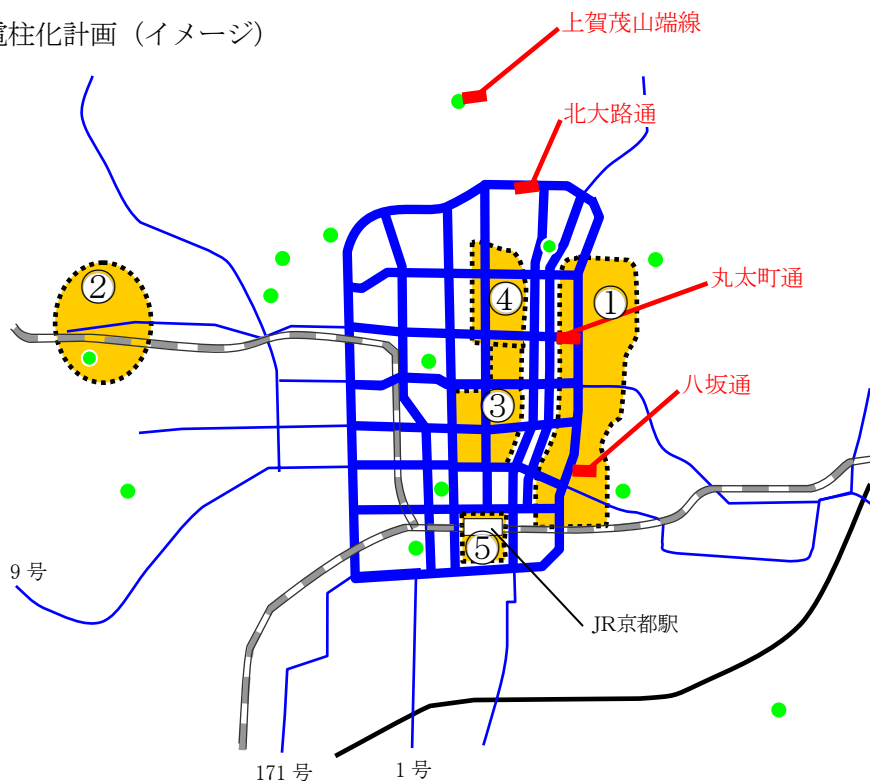
主な提案先：国土交通省（道路局路政課、国道・防災課、地方道・環境課）

京都市の担当課：建設局 道路建設部 道路計画課長 大嶋政夫 TEL 075-222-3580

建設局 道路建設部担当部長（道路環境整備課長事務取扱） 佐伯英和 TEL 075-222-3570

< 参考 >

○京都市の無電柱化計画（イメージ）



無電柱化の集中的実施地域

①鴨東地区 ②嵯峨嵐山周辺 ③職住共存地区 ④京都御苑周辺 ⑤京都駅周辺地区

平成 20 年度整備路線

主要幹線道路

世界文化遺産(高山寺, 延暦寺を除く)

○京都市の無電柱化実施状況

50.3 キロメートル（平成 20 年 3 月末現在）

○無電柱化推進計画

平成 16 年度～平成 20 年度整備予定路線

34.3 キロメートル

平成 20 年度整備予定路線

2.2 キロメートル

〔上賀茂山端線, 八坂通〕
〔北大路通, 丸太町通〕



（整備前）



（整備後）